

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らない
と、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐ
ための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示していま
す。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読み
のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあと
は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



CDX-550



安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書と別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠️ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

△警告・△注意 4

▶ 準備

まず、本機をリセットする 6

時計を合わせる 7

放送局を自動で登録する 8

▶ ここだけ読んでも使えます

CDを聞く 9

ラジオを聞く 12

▶ ラジオ

特定の放送局を登録する 14

▶ その他の操作

音質や音のバランスを調節する 15

音や表示の設定を変える 16

付録

使用上のご注意 17

各部のなまえ 18

故障かな? 19

保証書とアフターサービス 21

主な仕様 22

索引 23

準備

ここだけ
読み
ます
でも

ラ
ジ
オ

その他の
操作

付
録

! 警告



火災



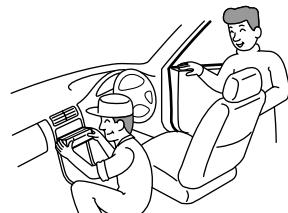
感電

下記の注意を守らないと火災・
感電により死亡や大けがの
原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に
損害を与えることがあります。

カセットテープやディスク挿入口に手を入れない

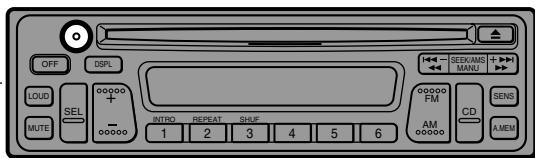
内部で手をはまれ、けがの原因となることがあります。



はじめに

本機では、CDとラジオを聞くことができます。また、別売りのパワーアンプをつないでさらに高音質を楽しむことができます。

まず、本機をリセットする



初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。

ご注意

リセットボタンを押すと、時刻の他、登録した内容で消えるものがありますので、登録し直してください。

時計を合わせる



1 車のキーをONにする。

DSPL

2 DSPLボタンを時計表示が点滅するまで押す。



① +/-ボタンを押して、「時」を合わせる。

(時計は12時間表示)

10:00



② 「時」を合わせたら、SELボタンを押す。

10:00



③ +/-ボタンを押して、「分」を合わせる。

10:08

DSPL

3 DSPLボタンを押す。

10:08

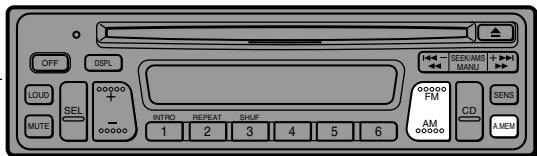
時計がスタートします。

ご注意

パワーセレクト機能をOFFにしている場合は、本機の電源を入れてから時計を合わせてください。電源を入れるには、FM/AMボタンを押してラジオをつけます。

くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。

放送局を自動で登録する



受信できる局を数字の1~6ボタンに自動的に登録します。FMまたはAMのバンドでそれぞれ6局ずつ登録できます。テレビ放送(1~3チャンネル)は、FM90.0MHzの次にあります。



1 FM/AMボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。



2 A.MEMボタンを2秒以上押す。

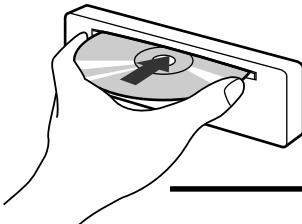
選んだバンドの放送局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。

ご注意

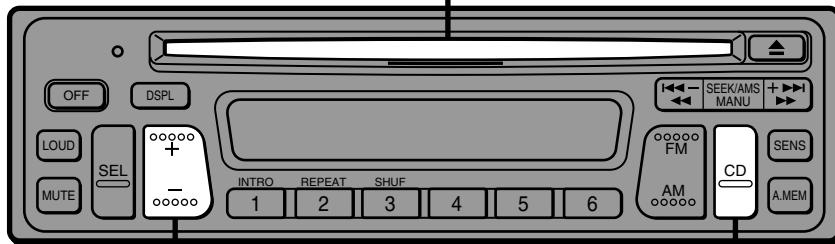
- 放送局の数が少ない場合は、登録されないことがあります。
- すでに登録されているボタンにも、新たに登録されます。

CDを聞く

CDを入れると再生が始まります



レーベル面を上にして
入れます。



音量を調節する

CDが入っているときに押すと再生が始まる

シーディー
(CDボタン)



8cmCDについて

本機では8cmCDをアダプターを使わずに再生できます。

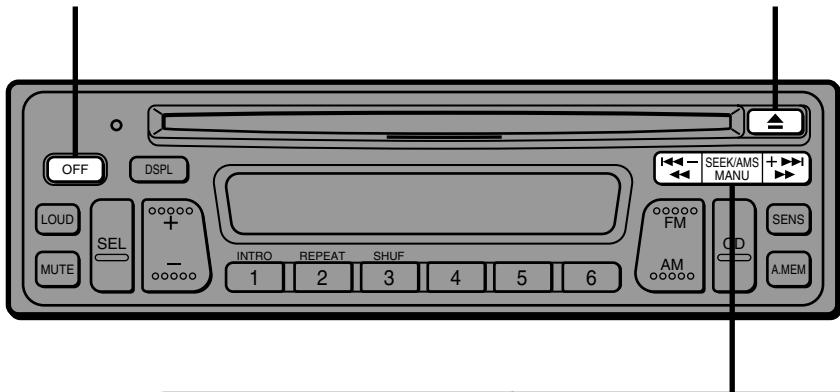
8cmCDにシングルアダプターを付けてディスクを再生すると、誤動作の原因となりますので使用しないでください。

次のページへつづく

CDを聞く(つづき)

止める/電源を切る

オフ
(OFFボタン)



聞きたいところを探す

シーク/エーエムエス/マニュアル
(SEEK/AMS/MANUボタン)



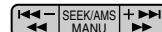
前に戻す

先に進める

押しつづけ、聞きたいところ
で離します。

曲の頭出しをする

シーク/エーエムエス/マニュアル
(SEEK/AMS/MANUボタン)



前の曲へ

次の曲へ

とばしたい曲の数だけ押します。

*セルフストップ機能

▲を押した後、挿入口にCDが15秒以上差し込んだままになっていると、ディスク保護のため自動的にディスクを引き込み停止状態になります。

表示の見かた (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り替えます。

DSPL

2.15

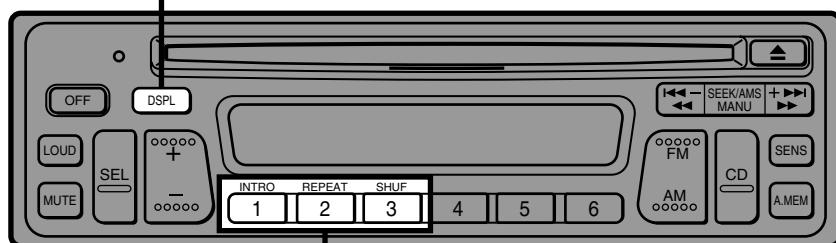
cd02

10:08

再生経過時間

再生トラック番号

時計



いろいろな聞きかた

INTRO
1

各曲の頭を10秒ずつ再生する (INTROボタン)
もう1度押すとそこからふつうの再生に戻ります。

REPEAT
2

今の曲を繰り返し再生する (REPEATボタン)
もう1度押すと、ふつうの再生に戻ります。

SHUF
3

再生中のディスクのすべての曲を順不同に再生する (SHUFボタン)
もう1度押すとそこからふつうの再生に戻ります。

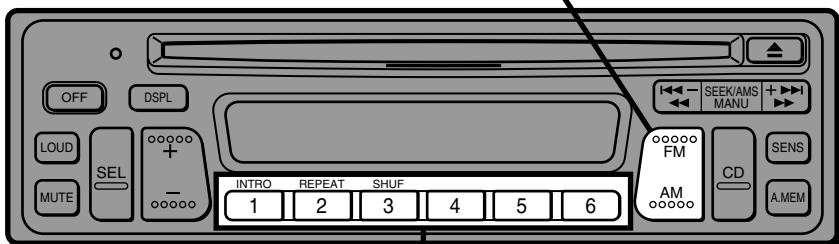
ラジオを聞く

1 聞きたいバンドに切り換える



FMI → FMII

AM



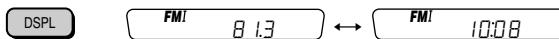
2 聞きたい放送局のボタンを押す (放送局をプリセットしてあるとき)



プリセット (登録) のしかたについては、8ページ参照。

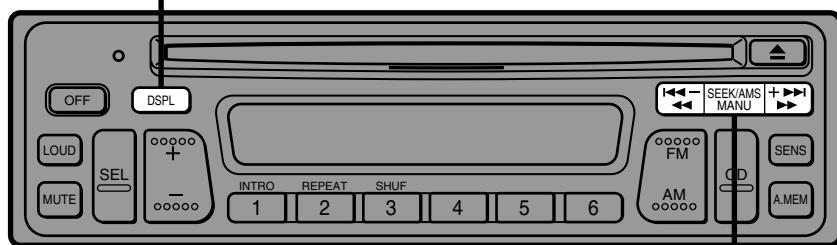
表示の見かた (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り替えます。



周波数

時計



ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「STEREO」と表示されます。放送が聞きにくいときは、SENSボタンを押して「MONO」を表示します。音をモノラルにすると聞こやすくなります。

旅先などで、プリセットした局が受からないとき（自動選局を使う）

SEEK/AMS/MANUボタンを短く押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞こたい局がかかるまで、ボタンを押します。



- 聞こたい局がわかっているときは、その局の周波数になるまでSEEK/AMS/MANUボタンを押しつづけます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、SENSボタンを押して「LOCAL」に切り替えます。比較的電波の強い局だけを受信します。

特定の放送局を登録する



放送局を自動で登録（8ページ）したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。すでに登録してある数字ボタンも、他の放送局に登録し直すことができます。道路交通情報（AM1,620kHzまたはAM 1,629kHz）を登録しておくと便利です。



- 1 FM/AMボタンを押して登録したい放送局のバンド（FM1、FMIIまたはAM）に切り換える。
- 2 SEEK/AMS/MANUボタンを押して登録する放送局を受信する。



FM

8 1.3



- 3 登録したい数字ボタンを番号が表示されるまで押す。



押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。

FM

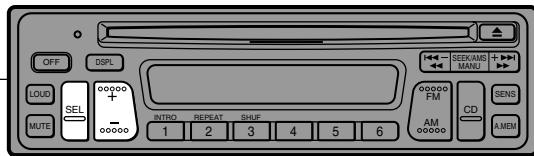
8 1.3 3

ご注意

FM12局、AM6局まで登録できます。

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の局は消えてしまいます。

音質や音のバランスを調節する



1 SELボタンを押して調節したい項目に切り換える。

VOL (音量) → BAS (低音) → TRE (高音)
↑ ↓
FADER ← → BALANCE
(前後のスピーカーバランス) (左右のスピーカーバランス)



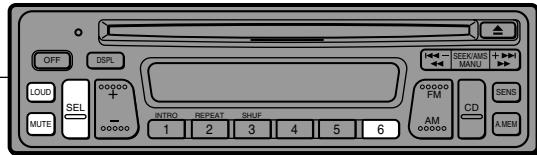
2 +/-ボタンを押して調節する。

3秒以内に調節してください。3秒過ぎると音量調節 (VOL) に戻ります。



BAS	TRE	BALANCE	FADER	VOL
強まる 弱まる	強まる 弱まる	左が下がる 右が下がる	前が下がる 後ろが下がる	上がる 下がる

音や表示の設定を変える



ボタンを押したときの「ピッ」音を入・切する



SELボタンを押しながら数字ボタン6を押す。

押すたびに切り換わります。

6

ご注意

内蔵アンプを使用しないで別売りのアンプを接続した場合、「ピッ」という音はでません。

小音量でも低音・高音を聞きやすくする

(ラウドネス機能)

音のバランスを補正し、小音量時でも低音と高音を聞きやすくなります。



LOUDボタンを押す。

押すたびに切り換わります。

一時的に音量を小さくする(ミュート機能)



MUTEボタンを押す。

音量が小さくなります。もう一回押すと元の音量に戻ります。また、この機能は+/-ボタンの+またはOFFボタンを押した場合、CD再生中に▲ボタンを押した場合にも解除されます。

使用上のご注意

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

液晶表示について

温度が極端に高いまたは低いところでは、表示が見づらくなることがあります。故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、表示ももとに戻ります。

結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままで、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

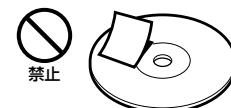
周囲の状況にもよりますが、CDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

コンパクトディスクについて

- CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れない
ように持つ。



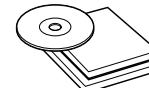
ディスクに紙などを
貼らない。
キズを付けない。

特に、レンタルCDなどで使用されていたものをお買いになった場合、ラベルなどが貼られていたときは、はがしたあとの接着剤まできれいにふき取ってください。残っていると故障の原因となることがあります。

- 直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



禁止



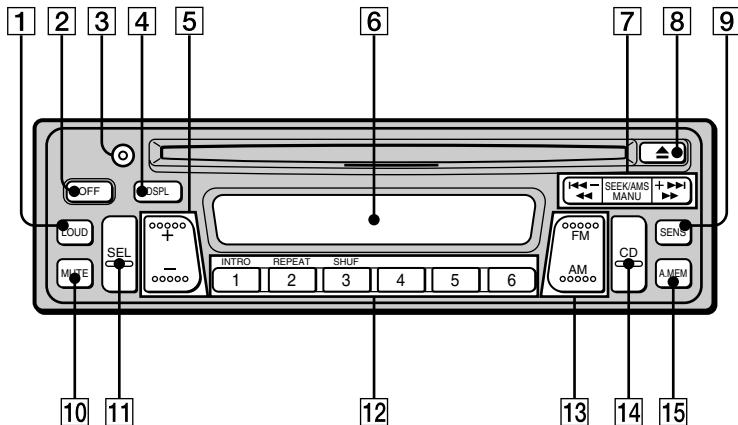
- 再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。



- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることができますので、使用しないでください。

各部のなまえ

●内のページにくわしい説明があります。



- ① ラウドネス
LOUD (ラウドネス機能) ボタン ⑯
- ② オフ
OFF (電源切り) ボタン ⑩
- ③ リセットボタン ⑥
- ④ ディスプレイ
DSPL (表示切り換え/時計合わせ) ボタン ⑦ ⑪ ⑯
- ⑤ +/−ボタン ⑦ ⑨ ⑯
- ⑥ 表示窓
- ⑦ シーク/エームス/マニュアルサーチ
SEEK/AMS/MANU (頭出し/ラジオ選局/マニュアルサーチ) ボタン ⑩ ⑯
- ⑧ ▲ (CD取り出し) ボタン ⑩

- ⑨ センシティビティ
SENS (感度切り換え) ボタン ⑯
- ⑩ ミュート
MUTE (音下げ) ボタン ⑯
- ⑪ セレクト
SEL (調節/選択) ボタン ⑦ ⑯ ⑯
- ⑫ 数字ボタン1~6
ラジオ ⑫ ⑯
- ⑬ エフエム/エーエム
FM/AM (ラジオ入/バンド切り換え) ボタン ⑬ ⑯ ⑯
- ⑭ シーディー
CD (⑯)
- ⑮ オートマチックメモリー
A.MEM (オートマチックメモリー機能) ボタン ⑬

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">音量を上げてください。スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
電源OFF時に時計表示にならない。	パワーセレクト機能がOFFになっている。 パワーセレクト機能をONにしてからリセットボタンを押してください。(アクセサリーポジションのある車のみ)
共通 ラウドネスの効果がかからない。	大音量になっている。音量を下げてください。 ラウドネス効果は小音量時だけかかります。
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">リセットボタンを押した。動作用電源コードまたはバッテリーをはずした。電源コードが正しく接続されていない。
ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">「ピッ」という音が出ない設定になっている(22ページ)。内蔵アンプを使用しないで別売りのアンプを接続した場合「ピッ」という音は出ません。
CDが入らない。 CDをいれてもすぐに出でくる。	<ul style="list-style-type: none">すでに別のCDが入っている。CDを誤った向きに入れようとしている。 レーベル面を上にして入れてください。
CD 音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none">CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。ディスクが傷ついている。本機の取り付け角度が20°を越えている。
△ボタンを押してもCDが出てこない。	△ボタンを2秒以上押す。
受信できない、 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none">カーアンテナとの接続を確認してください。オートアンテナが上がっていない。パワーアンテナコントローラリードをANT/REM(青)コードに接続してください。周波数を確認してください。
ラジオ SEEKボタンを押しても聞きたい局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none">「LOCAL」表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。表示を消してください(14ページ)。電波が弱くて自動選局できない。SEEK/AMSボタンを押しつづけて周波数を合わせてください。

故障かな？(つづき)

エラー表示について

CDプレーヤーが誤動作すると、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
E-04	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
E-99	何らかの原因でCDが動作しない。	本機のリセットボタンか▲ボタンを押す。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

付
録

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	90dB
周波数特性	5~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM

受信周波数	76~90MHz (テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	10dBf
周波数特性	30~15,000Hz
SN比 50dB感度 (IHF)	15dBf
実効選択性	75dB (400kHz)
SN比	62dB (ステレオ)
	65dB (モノラル)
ひずみ率 (1kHz)	0.5% (ステレオ)
	0.3% (モノラル)
ステレオセパレーション	35dB以上 (1kHz)
キャプチュアレシオ	2dB

AM

受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30μV

アンプ部

適合インピーダンス	4~8Ω
最大出力	35W×4 (4Ω負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
トーンコントロール	低音 : 10dB (100Hz) 高音 : 10dB (10kHz)
出力端子	リア用ライン出力端子 アンプコントロール アンテナコントロール
本体寸法	約178×50×180mm (幅／高さ／奥行き)
取付寸法	約178×50×159mm (幅／高さ／奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	取り付け/接続部品 (一式) 取扱説明書 (一式)
別売品	ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1) RCAピンコード RC-63 (1m) RC-64 (2m) RC-65 (5m) CDクリーニングキット CDM-21BK

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。

索引

あ行

- イントロ 11
- エラー表示 20
- オートマチックメモリー 8
- 音質
 - ラウドネス 16
 - 音量 9、15
 - 音を瞬時に下げる 16

か行

- 交通情報 14

さ行

- シャッフル 11
- ステレオ放送 13
- スピーカーバランス 13、15

た、な行

- 低音 15
- 電源 10
- 登録 8
- 時計 7

は行

- バランス 15
- ヒューズ 17
- 表示窓
 - CD 11
 - ラジオ 13
- フェーダー 15
- プリセット
 - 自動プリセット 8
 - ラジオ局 12、14
- ボタンの音 16

ま、や行

- モノラルモード 13

ら、わ行

- ラウドネス 16
- ラジオ 12
- 自動選局 13
- プリセット 12、14
- リセット 6
- リピート 11

付
録

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111